

令和7年度京都市「雨に強いまちづくり」主要事業(案)

「雨に強いまちづくり」と流域治水の視点

近年の水害による甚大な被害を受けて、施設的能力を超過する洪水が発生することを前提に、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」の再構築を進めてきました。この取組をさらに一歩進め、気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う「流域治水」が全国的に推進されています。

京都市「雨に強いまちづくり」は「流域治水」に先駆けて、関係局区の連携により効果的・効率的な浸水対策を推進してきており、今後も水災害への備えを加速させていきます。

京都市「雨に強いまちづくり」推進方針

5つの基本方針

- 基本方針1 「ながす」
- 基本方針2 「ためる・しみこませる」
- 基本方針3 「くみだす」
- 基本方針4 「つたえる・にげる」
- 基本方針5 「そなえる・まもる」



「雨に強いまちづくり」イメージ

流域治水の施策

「流域治水」では、**河川区域**や**氾濫域**のみならず、**集水域**も含めて一つの流域として捉え、その流域の関係者全員が協働して、①②③の取組を総合的かつ多層的に取り組んでいく。

①氾濫をできるだけ防ぐための対策

氾濫を防ぐ堤防等の治水施設や、流域の貯留施設等の整備



②被害対象を減少させるための対策

氾濫した場合を想定して、被害を回避するためのまちづくりや住まい方の工夫等

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

氾濫の発生に際し、確実な避難や経済被害軽減、早期の復旧・復興のための対策

適切な避難行動につながる情報発信

水防体制の充実

令和7年度京都市「雨に強いまちづくり」主要事業(案)

基本方針1-1 ① 都市基盤河川改修事業

建設局

事業概要

都市部のきめ細かい治水対策を目的に、一級河川の指定区間のうち17河川を本市の都市基盤河川として指定し、現在、河川整備計画に基づいて8河川の改修を進めている。

【R7年度整備予定の7河川】

西羽東師川支川、善峰川、有栖川、新川、西野山川（本川・支川）、東高瀬川

令和7年度取組内容

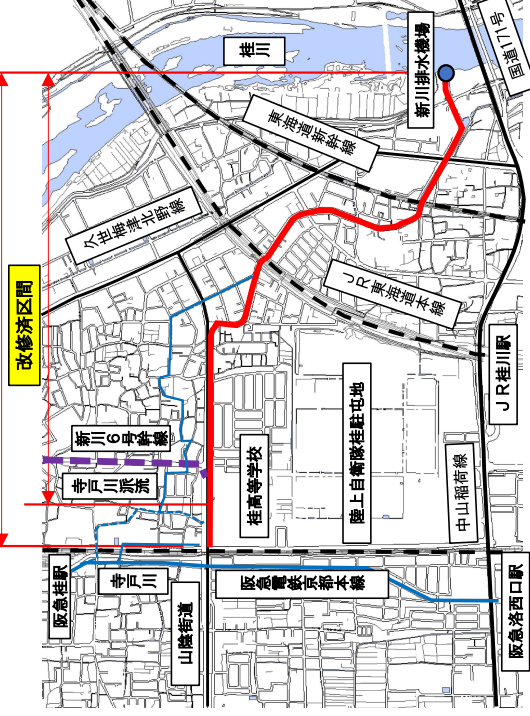
新川は、桂川右岸流域に位置し、田畑や宅地の排水を集め、上久世で桂川に合流する一級河川である。流域の都市化による出水量の増大に伴い、浸水被害が発生しているため、河積の拡大を行い、流下能力の向上を図る。

新川は、昭和48年度から河川改修工事に着手し、平成30年には、下水道事業として、雨水幹線（新川6号幹線）が完成・接続している。

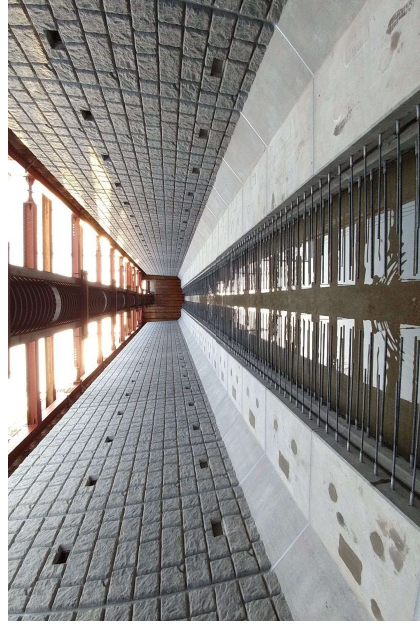
令和7年度は、これまでに引き続き河川改修（川島蒔田町付近）を進める予定である。

<流域治水との関連>①氾濫をできるだけ防ぐための対策

事業区間 L=2,200m



新川 整備箇所図



新川 施工状況



新川 改修後

令和7年度京都市「雨に強いまちづくり」主要事業(案)

基本方針1-3、2-1 雨水幹線等の整備による浸水対策事業

<流域治水との関連> ①氾濫をできるだけ防ぐための対策

上下水道局

事業概要

10年に1度の大雨に対応するため、雨水を「ながす」または「ためる」機能を備えた雨水幹線等の整備を進めている。

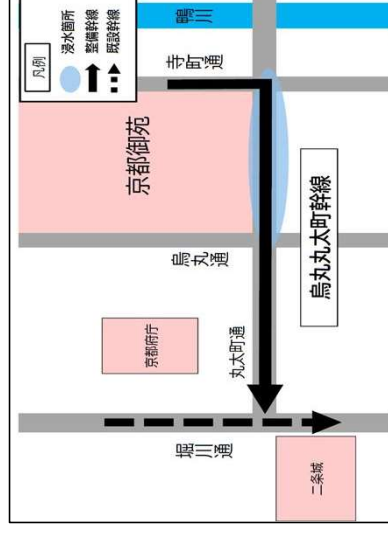
令和7年度取組内容

これまでから大雨による浸水被害が発生してきた烏丸丸太町周辺地区において、浸水対策として烏丸丸太町幹線を令和7年度の運用開始に向け現在整備中である。

また、市内中心部における広範囲の浸水安全度を向上させる鳥羽第3導水きよの整備（令和9年度運用開始）等を引き続き進め「雨に強いまちづくり」を推進していく。



烏丸丸太町幹線
雨水を取込む施設の施工状況（丸太町通）



烏丸丸太町幹線 位置図



鳥羽第3導水きよシールド工事施工状況



鳥羽第3導水きよ 位置図

令和7年度京都市「雨に強いまちづくり」主要事業(案)

基本方針2-3 森林整備事業(森林総合整備事業)(森の活性・利用対策)
基本方針2-5 (「京都市建築物等における木材利用基本方針」に基づく)市内産木材の利用推進

＜流域治水との関連＞ ①氾濫をできるだけ防ぐための対策

事業概要 (森林整備事業)

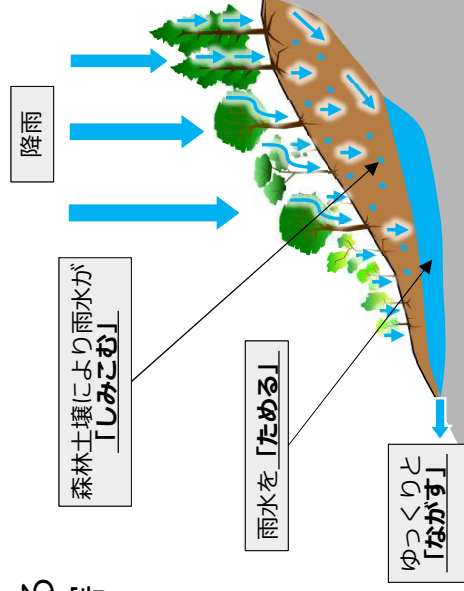
森林経営計画等に基づく造林・保育等や風雪害対策、地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策としての間伐を支援することで、健全な森林の育成を図り、森林の有する水源涵養、土砂災害の防止等の多面的機能の発揮を促進する。

令和7年度取組内容 (森林整備事業)

- ・森林組合等が実施する造林・保育等や風雪害対策、間伐を支援



適切に整備された森林



適切に整備された森林による水源涵養のイメージ

産業観光局

事業概要 (市内産木材の利用推進)

全庁
(主担当:産業観光局)

建築物等における木材の利用を促進することで、市内産木材の需要を拡大し、森林整備・保全の担い手である林業の活性化を図る。

令和7年度取組内容 (市内産木材の利用推進)

- ・公共建築物におけるみやこ杣木 (市内産木材) の率先利用
- ・民間建築物におけるみやこ杣木 (市内産木材) の利用支援
- ・官民連携によるウッド・チェンジの推進



内装に木材を使用した事例 (西京区総合庁舎)



木造の事例 (叡山電鉄 茶山・京都芸術大学駅)

令和7年度京都市「雨に強いまちづくり」主要事業(案)

基本方針2-4 農業用ため池の防災・減災対策の推進

＜流域治水との関連＞ ①氾濫をできるだけ防ぐための対策

産業観光局

事業概要

「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」（令和2年10月施行）に基づき指定された、市内25箇所の防災重点農業用ため池のうち、受益農地が市内にあり、防災工事が必要なため池について、土地改良区等が実施する防災工事等を支援する。

令和7年度取組内容

防災重点農業用ため池のうち、防災工事が必要な薬師谷池（西京区大原野）について、土地改良区が実施する防災工事に対して支援する。（防災工事は令和7年度から9年度までの3箇年での実施を予定。）

他の防災重点農業用ため池については、京都府が実施する防災工事の必要性評価を踏まえ、土地改良区等と協議のうえ、順次、事業化を検討していく。



薬師谷池 実施設計業務（ボーリング調査）の様子

令和7年度京都市「雨に強いまちづくり」主要事業(案)

基本方針5-1 水防体制の充実

消防局

事業概要

水害の発生に備えて、水防資器材を点検・整備するとともに、大雨警報発令時等において管内の災害危険個所の警戒調査を実施し水災の防止、人命危険の排除等を実施。

さらに、市内で水災が発生した場合には、地域の消防団や管轄区域の水防団と連携し、人命の安全確保及び被害の軽減を図る。

令和7年度取組内容

- ・最新機器、技術を搭載したドローンを有効活用し、災害対応力の強化を図る。(オルソン画像の活用)
- ・消防職員に対する水災教育を実施する。
- ・消防団に水災教育を実施し、水防資器材の使用方法の習熟及び水災時の活動に関する知識・技術を習得した消防団員を養成する。

<流域治水との関連>③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



救命ボートなど、水防資器材の点検整備



警戒調査、人命の安全、被害軽減を実施



ドローン最新機器の活用 (オルソン画像の活用)



消防団による訓練

令和7年度京都市「雨に強いまちづくり」主要事業(案)

基本方針5-1 水防体制の充実

建設局

事業概要

- ①水防団の機能強化
水害時に最前線で活動する水防団の装備を充実し、水防倉庫などの設備についても改善を行う。
- ②水防訓練等
地域を水害から守るため、水防団・消防団・消防局・地域住民による水防訓練を実施し、水防技術の向上や水防意識の高揚を図る。

令和7年度取組内容

- ①水防団の機能強化
 - ・水防団装備品の充実
- ②水防訓練等
 - ・水防工法研修会の実施
 - ・水防訓練の実施
(非常召集訓練、通信連絡訓練、情報収集訓練、水難救助訓練、水防工法訓練)

＜流域治水との関連＞③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



水防訓練(R6.5.12)

令和7年度京都市「雨に強いまちづくり」主要事業(案)

基本方針5-3 避難情報等の周知、災害時に備えたタイムラインの活用、総合防災訓練等の実施

行財政局

＜流域治水との関連＞③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業概要（総合防災訓練の実施）

○概要

京都市地域防災計画の基本理念に基づき、防災関係機関と京都市との緊密な連携による総合防災訓練及び市民の防災意識向上を旨とした啓発を実施する。（令和6年11月9日(土) 実施）

○実施内容

大規模災害対応訓練：防災関係機関と京都市が連携した災害対応訓練（被害情報収集・伝送訓練、救出救助訓練、ライフライン復旧訓練）

市民防災啓発：ブース展示による防災啓発

（防災気象情報展示、備蓄展示、起震車による地震体験等）

○訓練参加団体

京都市防災会議構成機関等

令和6年度の訓練参加者及び来場者

38機関/約4,000名

令和7年度取組内容

○水害、地震などの大規模災害時に即応できる体制の維持及び市民の防災意識の向上を目指し、今年度も引き続き総合防災訓練を実施する。

※写真は令和6年度総合防災訓練の様子



道路啓開訓練（建設局）



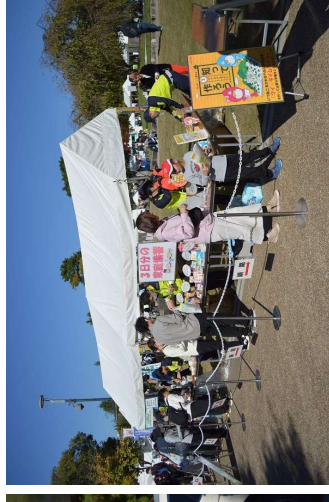
倒壊建物救出訓練（自衛隊）



消火・救出訓練（消防局）



応急給水訓練（上下水道局）



災害備蓄展示、アルファ化米吹き出し
マイ・タイムラインの説明（行財政局）